

「自分の考えを伝えるための表現力の育成」 ～読むことを通して、言語感覚を養う指導の工夫～

大田区立南六郷小学校
校長 島村 博
研究主任 上野 広祐

1 研究の目的（テーマ設定理由）

本校には、自分の考えに自信をもって表現できる児童とできない児童がおり、一部の児童を中心に授業が展開されることがある。そこで、自分の考えを表現することが苦手な児童のために、表現する力を十分に身に付けさせる必要があると考えた。教科は、表現力と大きく関わりをもつ国語科で実施することにした。令和3度は国語科の全領域における研究をし、令和4年度は国語科の「書くこと」に重点を置いて研究を実施した。令和5年度は、令和4年度の課題として挙げられた「中学年以上の児童でも、主語と述語の関係が分からない児童が多くいるため、言語活動を充実させて正しく理解させる必要がある。」と「豊かな表現力を身に付けさせるためには、語彙力を高めることがまずは不可欠であり、様々な読み物に触れさせる必要がある。」という課題を改善するために「読むこと」に重点を置いて研究に取り組んだ。

2 研究の方法（年間計画）

全学年と専科において、年間1回ずつ研究授業を実施した（詳細は下記参照）。

	日程	学年	教科	教材名	講師
第1回	5月31日	4年生	国語	「アップとルーズで伝える」	平林 久美子
第2回	6月28日	6年生	国語	「主張と事例」「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」	平林 久美子
第3回	7月25日	2年生	国語	「どうぶつえんのじゅうい」	平林 久美子
第4回	10月11日	3年生	国語	「大豆博士になろう ～すがたをかえる大豆～」	平林 久美子
第5回	10月25日	5年生	国語	「固有種が教えてくれること」「統計資料の読み方」	平林 久美子
第6回	11月29日	2年生	音楽	「いろいろながっきの音をさがそう」	平林 久美子
第7回	1月24日	1年生	国語	「どうぶつの赤ちゃん」	平林 久美子

3 研究の成果と今後の課題

研究の成果としては、本文にサイドラインを引く活動を充実させたり、読み取ったことをワークシートに整理して書かせたりするなどの活動に取り組んできたことにより、本文を正確に読み取る力が高まってきたことが挙げられる。また、「写真や動画を用いて文章を正確に理解できるようにする」、「ロールプレイングを通して意欲をかき立てる」、「黒板の掲示物を効果的に活用して文章を整理する」、「虎の巻を活用する」などの言語活動を充実させる指導をしたことによって、学習を定着できたと考えている。

課題は、語彙力が十分に高まらなかったことや、主語と述語の関係が分からない児童が依然として見られることが挙げられる。次年度以降も、今年度の成果を大切にしながら指導を継続することによって、子どもたちの読むことを通した言語感覚を養う指導を充実させていきたいと考えている。そして、自分の考えを伝えるための表現力を継続して育んでいきたいと考えている。